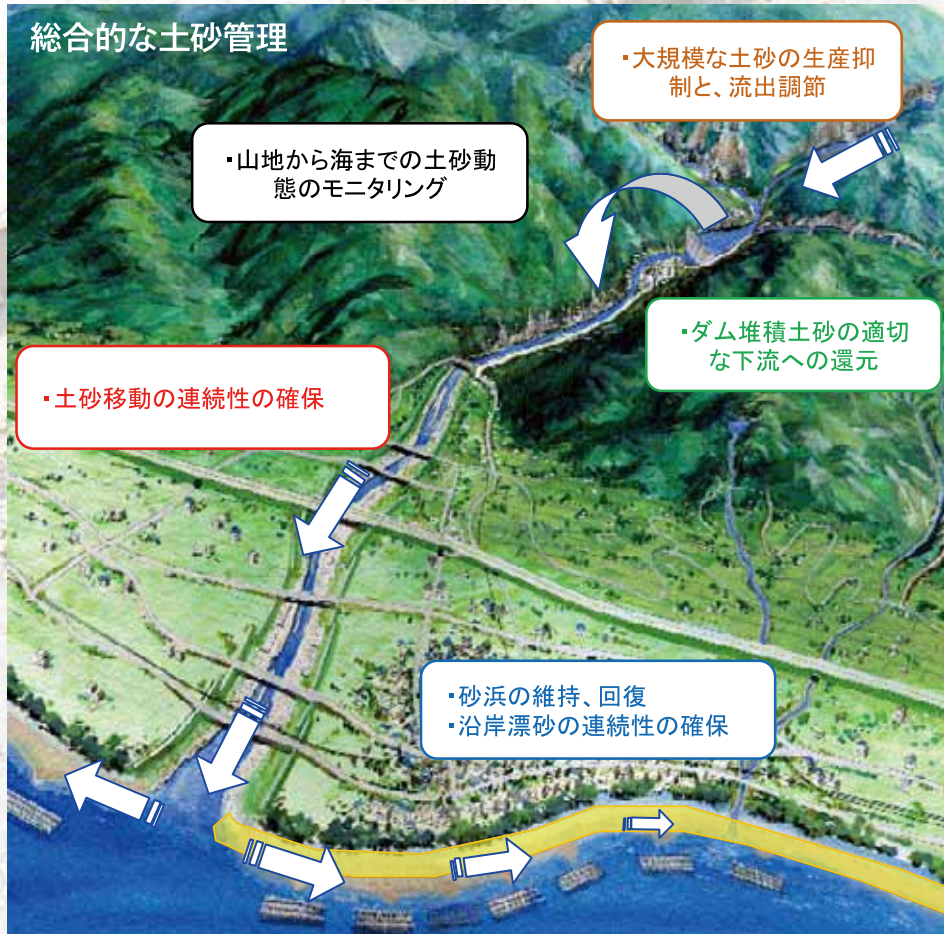


平成29年度 土木学会西部支部 講演会

# “総合土砂管理”とは？— 一流砂系と私たちの暮らし—

九州北部豪雨災害の発生および海岸管理の見直しなどから、山から海までの流砂系の確保を目指した「総合土砂管理」の重要性が再認識されています。砂防、河川、港湾、海岸などの公的管理下で、橋梁、取水施設、航路、観光、生態系や景観の保全が関連する分野です。流れゆく土砂のなかで、私たち人間の暮らしをどのように立てていくのが注目されています。

国土交通省砂防部より全国の事例や動向について基調講演をいただきます。九州での先進事例や土砂管理状況も学びます。自然の流れをもっと活用した砂を流す技法の開発、伝統技術に学ぶ新技術も求められています。



開催日時 / 2017年 **11月14日** 火 13:30~17:00

会場 / JR博多シティ 9階会議室I

土木学会CPDプログラム

●スケジュール

13:30 趣旨説明 土木学会西部支部

13:35 基調講演「流域から海岸まで“総合的な土砂管理”の現状」

国土交通省水管理・国土保全局砂防部保全課 総合土砂企画官 宇根 寛氏

15:00 九州での事例:宮崎県耳川での総合土砂管理 宮崎県河川課

15:40 総合討論 九州発の総合土砂管理を考える キーワード:既往最大規模の災害、気候変動、日々の暮らし、自然・歴史・文化との両立

16:30 終了

企画  
問合せ 清野 聡子 九州大学大学院工学研究院 環境社会部門 准教授  
土木学会西部支部幹事講演講習部会主査・土木学会企画委員会副幹事長

〒819-0395 福岡市西区元岡744  
九州大学大学院工学研究院 環境社会部門 生態工学研究室  
Tel/Fax.092-802-3437 seino@civil.kyushu-u.ac.jp

※申し込みURL

<https://goo.gl/7ookeE>

☆資料代/1,000円を当日申し受けます。

(資料準備のため事前申込にご協力下さい。)